

ちゃんと かわら版

千歳の繁華街幸町・清水町の まちなか美化活動実施

北海道社交飲食生活衛生同業組合千歳支部(山越朋人支部長)は5月1日に、千歳の代表的な繁華街である幸町と清水町のごみ拾い「まちなか美化活動」を行いました。



昼過ぎのギオン通り山越ビルに集まった組合員らは約20人。山越支部長らのあいさつと注意喚起、幹事長からの連絡事項の伝達終了後、集合写真の撮影を行い、5班に分かれてごみ拾いを開始。それぞれが組合の用意したごみ袋とごみばさみを手に、各班で5つに分けたブロックのごみを拾いました。



娘の齋藤みことさん(3歳)と参加した齋藤愛さんに話を聞くと「組合員なので、参加できるときは、積極的に参加してきたのですが、子どもが幼すぎて、ここ数年は参加することができませんでした。娘も楽しんでごみを拾ってくれるので、これからは継続的に参加するつもりです」と美化活動への参加の意思を示していました。また、3歳の

みことさんは「ごみひろい、たのしい、きれいなって、うれしかった」と特別に用意してもらった小さなごみばさみを手に話してくれました。歩道のごみを拾っていた山越支部長は「繁華街であることもあるのでしようが、思った以上にタバコの吸い殻が落ちていたのは、とても残念です。組合としても、ごみを拾うだけでなく、何らかの対策を考えなくては、と感じました」と、より多くの人が気持ちよく千歳の町を楽しめるように、さらなる活動への意欲をにじませました。

(編集部 齋藤)

皇室へのスズラン献上に 今年も千歳市長が出発

千歳市は昭和36年5月24日、支笏湖モータープ地区で開催した第12回全国植樹祭に昭和天皇皇后両陛下をお迎えしたことを記念し、毎年北海道を代表する花の1つであるスズランを皇室に献上しています。

この献上に先立って5月8日に新千歳空港国内線ターミナルビル内で出発セレモニーが行われました。スズランと同じ便の飛行機で東京に献上に向かう予定の横田隆一千歳市長



は「今年の献上で65回目を迎えます。毎年欠かさず、ずっと献上を継続しています。昭和、平成、令和と伝統と歴史のある、この皇室への献上をこれからも続けていきたいと思っております。スズランの献上を通じて、その花言葉である「幸福の訪れ」を多くの方にお届けできるようにと思っています」とあいさつしました。

締役社長は「今年も、スズランの献上に、輸送機関として関わることができ、大変うれしく光栄です。横田市長のお話にもあったようにスズランの花言葉は幸せの訪れとうかがっています。この千歳から始まる幸せを目的の地までお届けし、幸せの橋渡し役をしつかりと果たしていきたいと思っています」と話しました。

献上されたスズランは12鉢(総重量約120キロ)、千歳市内の農家が栽培したドイツスズランです。ドイツスズランは日本スズランに比

べると花が少し大きく、香りが強いのが特徴。セレモニー当日は6〜7部咲きで、おおよそ1週間後、都内に到着した後、満開の見頃を迎えるといえます。

開催初日に何と会場には、観覧者がひっきりなしに訪れ、写真を展示している会員から作品内容の解説などを受けていました。今回展示された写真作品は約65点。写真展に参加した会員は10人で、1人6〜7点ほどの作品を展示しました。

佐々木代表によると、同会の特徴は「ネイチャーや人物、虫、飛行機、野鳥など、さまざまな分野の写真をそれぞれが独自に楽しんでいること」だといえます。「基本的に撮影は個人プレーで、会員同士も写真展などの展示の際に顔を合わせる程度です。また、写真展示は年に4回ほど。千

歳写友会写真展、千歳市民芸術祭写真展、石狩管内郷土芸術祭写真展、北海道シルバー作品展(60歳以上)が主な展示活動となっています」と、会員それぞれが自分のスタイルで自由に写真を楽しむことを大切にしていると話しました。

写真展に作品を展示した会員の坂本栄造さんは「千歳写友会に入って3年目です。ネイチャー、花、野鳥などを撮影しています。地元千歳周辺をメインに撮影していて、今回の展示で、ベニヒワやシマエナガ、オオワシ、オジロワシといった珍しい野鳥が千歳でも観察できることを知らせてもらえたらうれしいです」と写真を通じて多くの人に千歳の魅力を再発見してほしいと語りました。

今回の写真展で展示された作品の一部を本紙6ページのフォトギャラリーでも紹介していますので、こちらも合わせてご覧ください。

(編集部 齋藤)



5LDK

千歳写友会 35周年記念写真展を開催

千歳写友会(佐々木保彦代表)は、5月3日から6日のゴールデンウィーク期間中に35周年記念写真展を千歳市民ギャラリーの1階で開催しました。

開催初日に何と会場には、観覧者がひっきりなしに訪れ、写真を展示している会員から作品内容の解説などを受けていました。今回展示された写真作品は約65点。写真展に参加した会員は10人で、1人6〜7点ほどの作品を展示しました。

佐々木代表によると、同会の特徴は「ネイチャーや人物、虫、飛行機、野鳥など、さまざまな分野の写真をそれぞれが独自に楽しんでいること」だといえます。「基本的に撮影は個人プレーで、会員同士も写真展などの展示の際に顔を合わせる程度です。また、写真展示は年に4回ほど。千

歳写友会写真展、千歳市民芸術祭写真展、石狩管内郷土芸術祭写真展、北海道シルバー作品展(60歳以上)が主な展示活動となっています」と、会員それぞれが自分のスタイルで自由に写真を楽しむことを大切にしていると話しました。

写真展に作品を展示した会員の坂本栄造さんは「千歳写友会に入って3年目です。ネイチャー、花、野鳥などを撮影しています。地元千歳周辺をメインに撮影していて、今回の展示で、ベニヒワやシマエナガ、オオワシ、オジロワシといった珍しい野鳥が千歳でも観察できることを知らせてもらえたらうれしいです」と写真を通じて多くの人に千歳の魅力を再発見してほしいと語りました。

(編集部 齋藤)

びっこたっこ
「バラバラ」「不揃い」という意味。
靴下など2つで1組のものが揃っていないときに使われます。朝の靴下選びは慎重に。

LICORIRE GARDEN
庭のお悩み教えてください
お庭の手入れ・樹木の剪定・芝生の手入れ・草刈り・除草・病虫害対策のほか、花壇の作成、庭のリフォーム店舗や事務所、ベランダなどの緑化管理も承ります。

リコリル ガーデン(中里) 夕張郡長沼町曙町1-4-10
090-6213-2942
Eメール licorire.garden@gmail.com

オープンハウス 5/17(土)・18(日) 11:00~16:00

千歳市豊里1丁目
販売価格 **2,880万円** (税込)
支払例
頭金0円入
借入3,000万円
40年返済 利率0.65%
毎月支払額 **73,747円**

リフォーム内容
●外観、屋根塗装・洗面化粧台新品・フロア、クロス貼り替え・建具新品・LED照明新品
●給湯ボイラー新品・インターホン新品

本物件のお問合せはこちら
080-1867-4607

たいせつ総合サービス株式会社
0144-38-8100